

三二講座 自己肯定感を育む

令和6年6月20日に第1回三二講座を実施しました。長崎大学教育学部准教授 脇信明先生を講師に迎え、「子ども理解から子どもの自己肯定感を育む」と題して、ご講演をいただきました。

講話の冒頭、具体的な事例を挙げて、子どもの気持ちを受け入れることの大切さや子どもを認めたくえで接することの大切さなどに気づかせてくださいました。

その後、日本の子どもたちは諸外国の子どもたちに比べて自己肯定感が低かったり、自分を価値のある人間だと思っていない割合が高かったりすることを紹介されました。そのうえで、自己肯定感を強くするには、その子自身を十分に愛すること、いい子であることを求めず、悪い子であっても認めること、「大好き」「大切」という具体的な言葉を伝え、愛情タンクを満たしてあげることが大切だとおっしゃいました。

脇先生の軽快なお話で、1時間があっという間でした。今後も、附属幼稚園では、家庭との連携をより深めて、園と家庭の両輪で、愛情タンクを満タンにできるようにしていきたいと思えます。

